

1ねんせいのさんすう

ながさくらべ①

な
ま
え

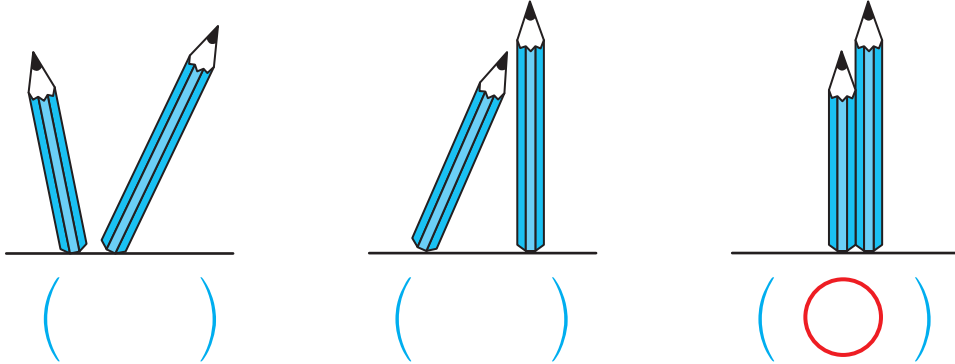
が
つ に
ち

1/2まい

て
ん

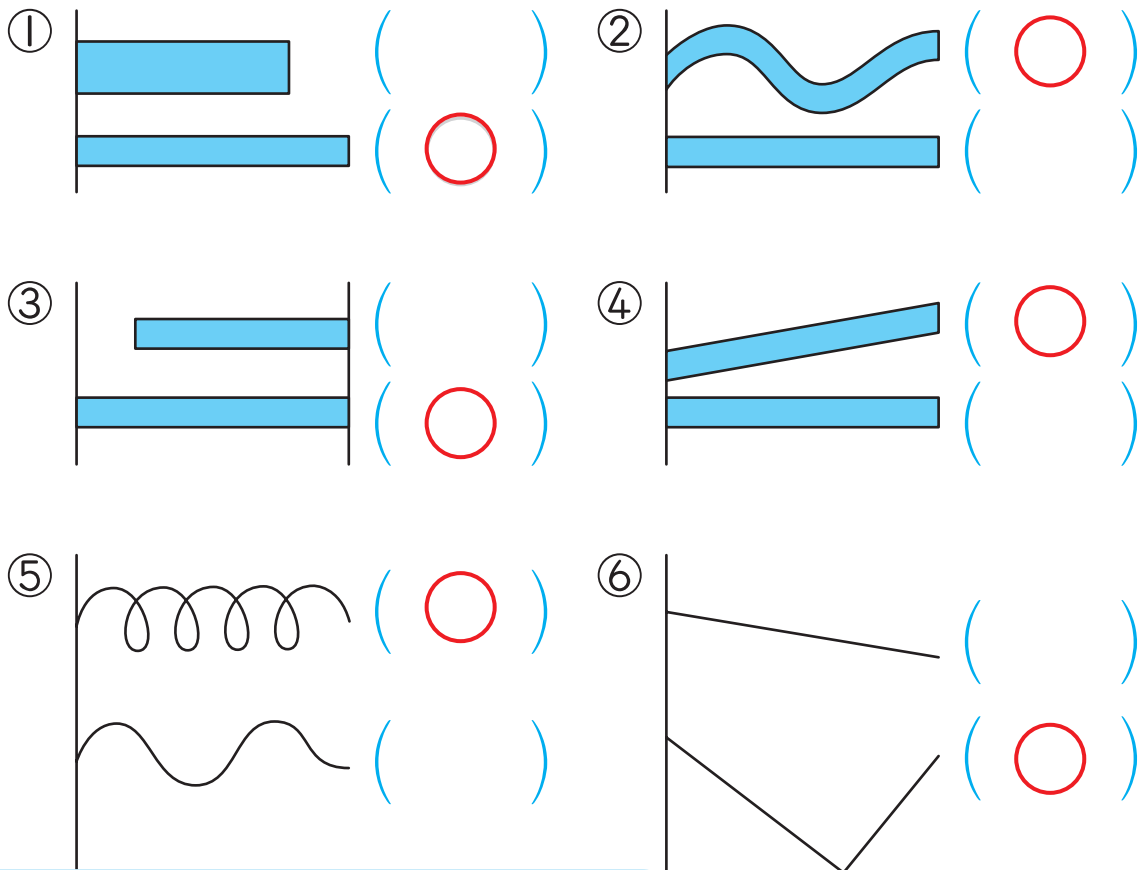
1 えんぴつの ながさの くらべかたで よい ものに ○を つけましょう。

8てん



2 ながい ほうに ○を つけましょう。

42てん(1つ7)



おうちの方へ 長さを比べるときは、一方の端をそろえて平行に並べます。

2 ①は、テープの太さは長さに関係ないことを押さえます。②は上のテープをまっすぐにのばすとどうなるか考えます。④は上のテープを下のテープに平行になるようにするとどうなるか考えます。

3 ①は長さをテープに置き換えて比べる方法です。縦の長さを表す印が横よりはみ出しているので、縦の方が長いことがわかります。②は片方の辺を折り曲げてもう一方の辺に重ねて、どちらの辺が余るのが調べています。余りのある方の辺が長いことに気づきましょう。実際にやってみましょう。

4 ③で、①のテープは左端がそろっていないことに気をつけましょう。①は②より短いことがわかります。

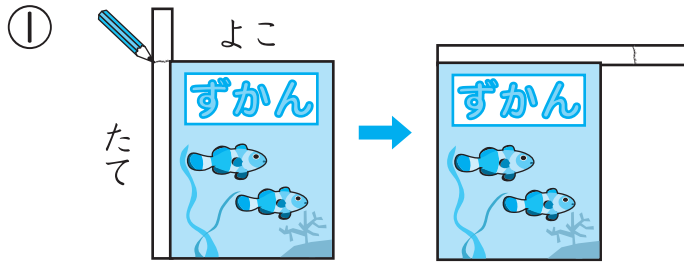
つぎ
次のプリントにつづく →



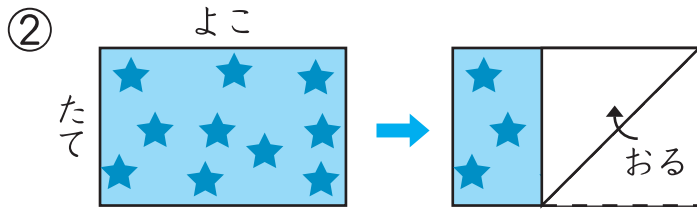
ながさくらべ①

3 たてと よこでは どちらが ながいでしょう。

20てん(1つ10)



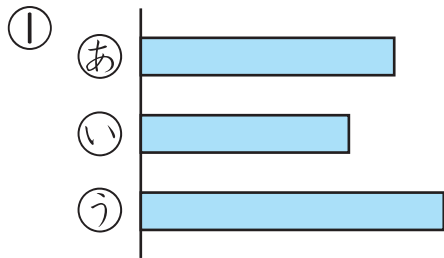
(たて)



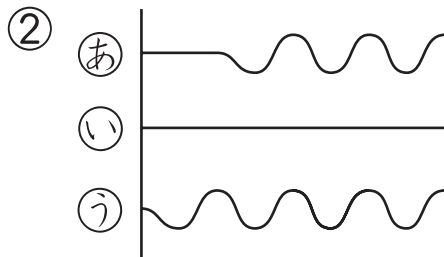
(よこ)

4 ながい じゅんに かきましょう。

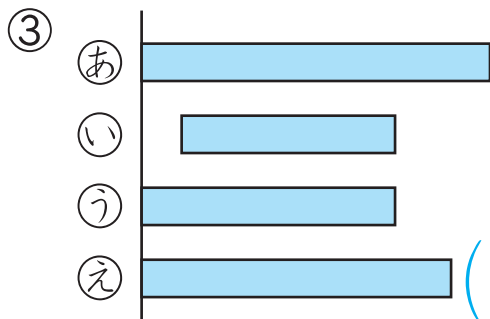
30てん(1つ10)



(う) → (あ) → (い)



(う) → (あ) → (い)



(あ) → (え) → (う) → (い)

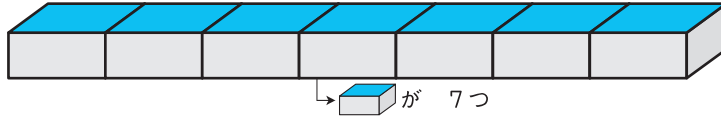


ながさを くらべるときは、はしを そろえて、まっすぐに のばして くらべることが たいせつだよ。

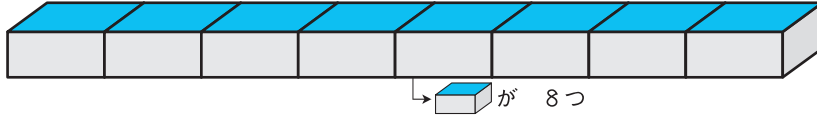
1 ながい ほうに ○を つけましょう。

15てん(1つ5)

①

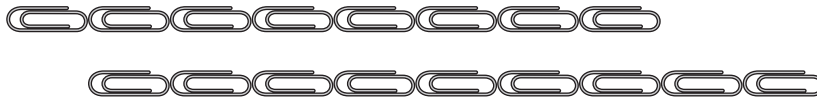


()



(○)

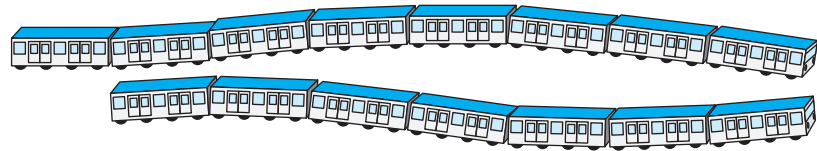
②



()

(○)

③

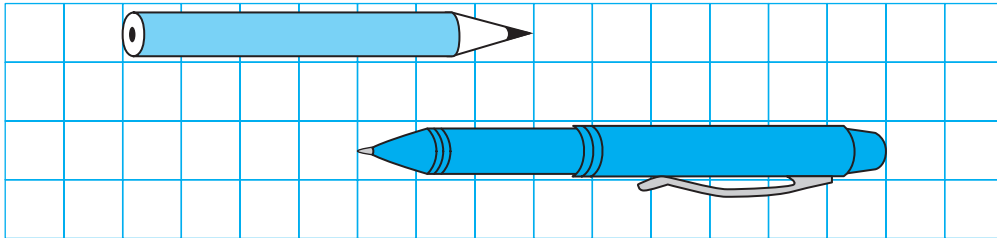


(○)

()

2 したの えを みて こたえましょう。

35てん(1つ7)



① えんぴつは めもり **7** つぶん。

② ぼおるぺんは めもり **9** つぶん。

③ **ぼおるぺん** は **えんぴつ** より

めもり **2** つぶん ながい。

おうちの方へ いろいろなものを長さの単位として、そのいくつかで長さを考え、くらべます。

1 ①はまずブロック1つの長さがどれも同じであることを確認します。どれも同じだから、ブロックの数で長さが比べられることに気づきましょう。②のクリップ、③の車両についても同じように長さを比較します。

2 方眼のます目の数で長さを表したり、比べたりできます。

3 消しゴムの長さを単位にして、長さを比べています。

4 方眼の1ますは、縦も横も同じ長さです。したがって、はさみやのりなどを横に置いて縦に置いても、ます目の数で長さが比べられます。

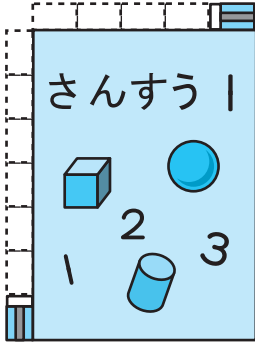
つぎ
次のプリントにつづく →



ながさくらべ②

3 けしごむを つかって きょうかしよの ながさを はかりました。□に はいる かずを かきましょう。

30てん(1つ10)



① たては、けしごむ 7 つぶん。

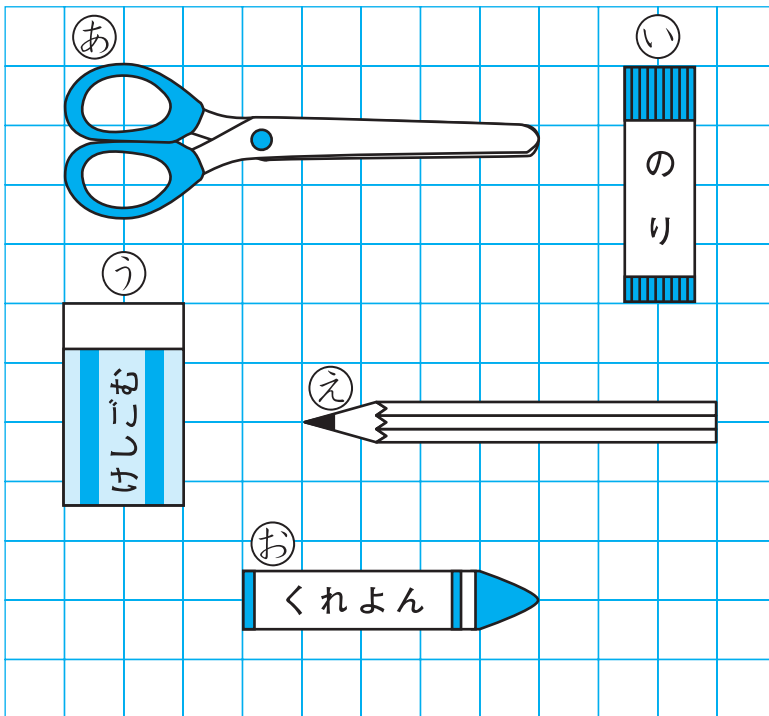
② よこは、けしごむ 5 つぶん。

③ たてが よこより けしごむ

2 つぶん ながい。

4 ながい じゅんに あ, い, う, え, おを かきましょう。

20てん



めもりを かぞえて
ながさを
くらべよう。



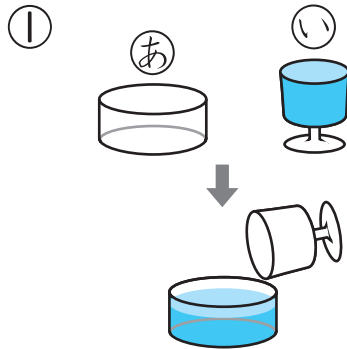
(あ) → (え) → (お) → (い) → (う)

「○の いくつぶん」で ながさを あらわすと、ながさくらべが しやすい ね。



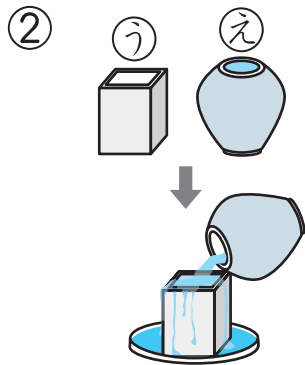
1 2つの いれもので どちらが おおく はいるか
しらべました。

12てん(1つ6)



①の みずを ②に 入れたら
とちゅうまでしか はいりませんで
した。②と ①では どちらが お
おく はいるでしょう。

(**あ**)

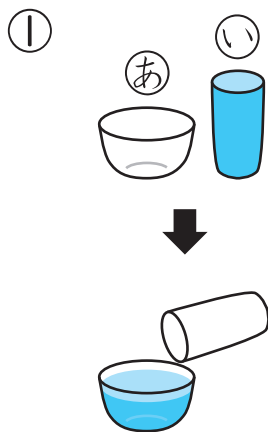


②の みずを ①に 入れたら
あふれて しまいました。①と
②では どちらが おおく
はいるでしょう。

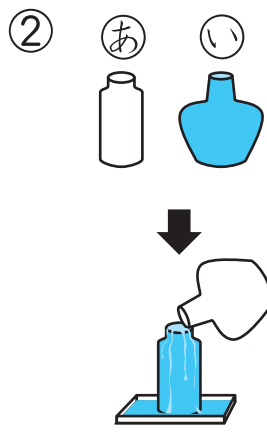
(**え**)

2 おおく はいるのは ②, ①の どちらでしょう。

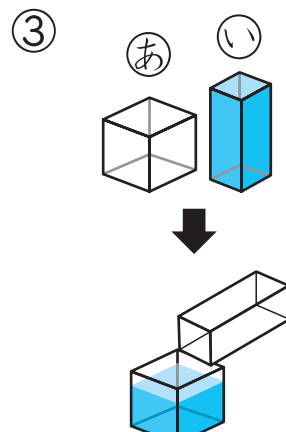
24てん(1つ8)



(**あ**)



(**い**)



(**あ**)

おうちの方へ かさを比較するいろいろな方法を知りましょう。

- 1 ほかの入れ物を使わないで比較するやり方です。もう一方の入れ物に水を移し替えたとき、水があふれるかどうかを見て判断します。
- 3 別の入れ物に水をそれぞれ移し替えてかさの比較をする方法です。移し替えた入れ物は同じ大きさなので、水位で比較できることに気づきましょう。
- 4 ①は同じ大きさの入れ物なので水位で比べられます。②は左の入れ物の方が底面積が広いので、同じ水位なら左の方が水が多く入っていると考えます。③の入れ物の高さは異なりますが、水位で比べられることに気づきましょう。

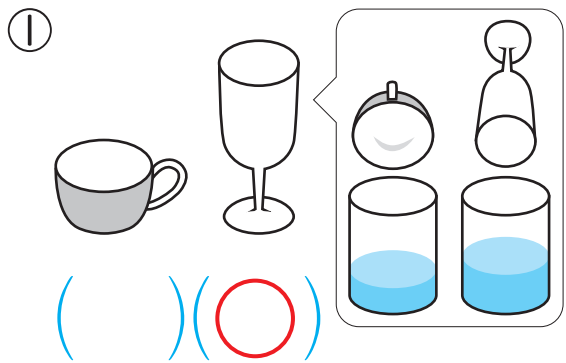
つぎ
次のプリントにつづく →

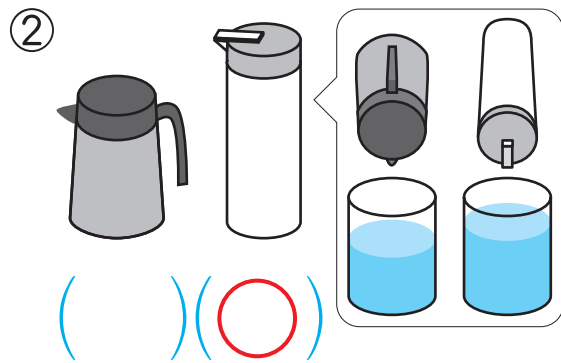


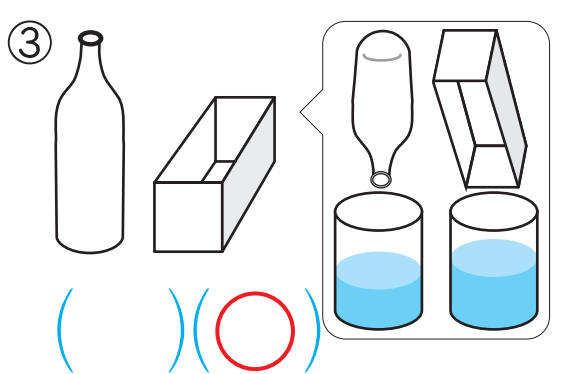
かさくらべ①

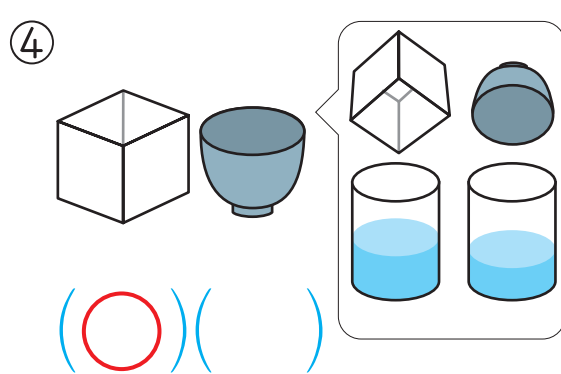
3 おおく はいる ほうに ○を つけましょう。

32てん(1つ8)

①  () (○)

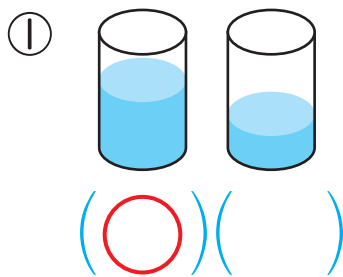
②  () (○)

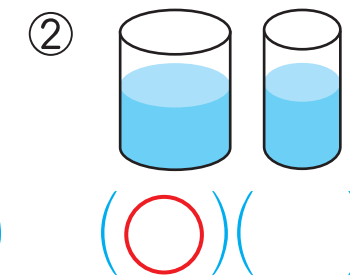
③  () (○)

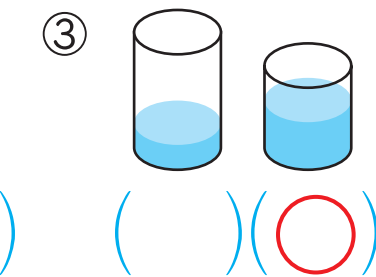
④  (○) ()

4 みずが おおく はいって いる ほうに ○を つけましょう。

24てん(1つ8)

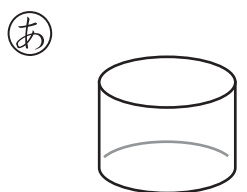
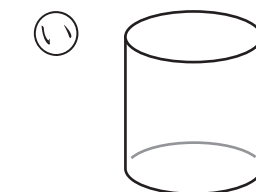
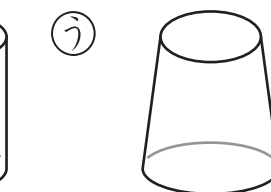
①  (○) ()

②  (○) ()

③  () (○)

5 みずが いちばん おおく はいる いれものは、**あ**、**い**、**う**の どれでしょう。

8てん

あ  い  う  (**い**)

ほかの いれものに みずを うつしても かさは かわらないよ。

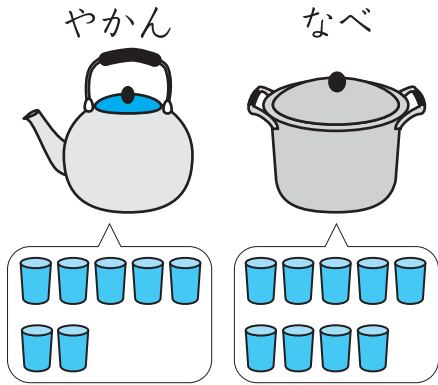


かさくらべ②

1/2まい

てん

1 みずが おおく はいるのは、やかんか なべかを
しらべました。□に かずや ことばを かきましよう。



12てん(1つ4)

やかんには みずが こっぷで

7 はいぶん はいりました。

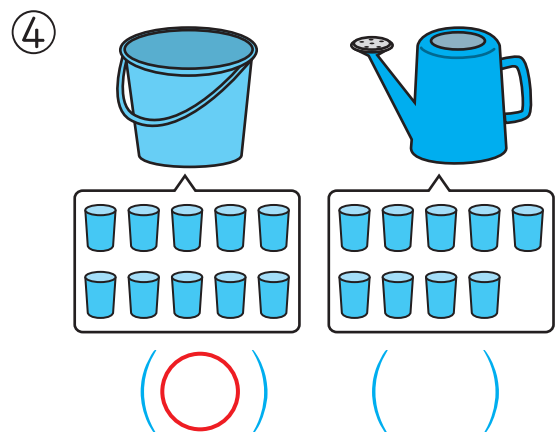
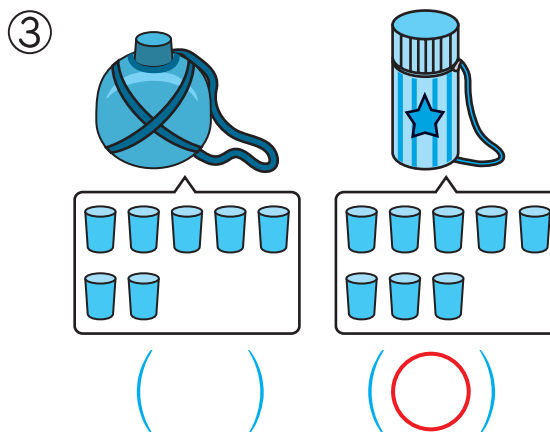
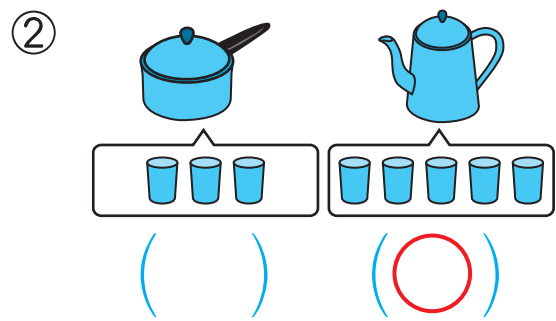
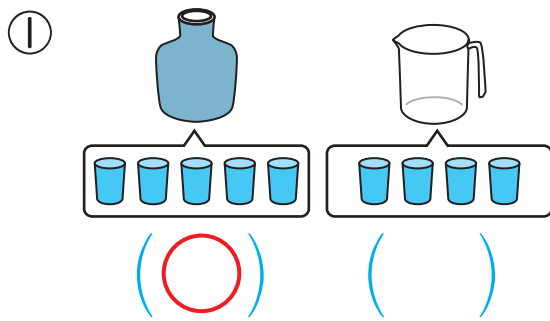
なべには みずが こっぷで

9 はいぶん はいりました。

みずが おおく はいるのは **なべ** です。

2 おおく はいる ほうに ○を つけましよう。

40てん(1つ10)



おうちの方へ コップ1ぱい分を単位に
してかさの比較をします。

1 いろいろな入れ物も、コップを使う
とかさをコップ何ぱい分で表すことが
できます。

4 コップの数を全部数えてから、数の
多い順になるように、入れ物の名前を
書いていきます。







つぎ
次のプリントにつづく →



かさくらべ②





3 おおく はいる ほうに ○を つけましょう。





18てん(1つ9)

①			②		
	で 8はい	で 9はい		で 13はい	で 11はい
	()	(○)		(○)	()

4 おおく はいる じゅんに なまえを かきましよう。

30てん(1つ15)

①	びん	ぺっとぼとる	やかん	せんめんき
				
	で 5はい	で 10はい	で 10はい	で 15はい
	(やかん)	→ (せんめんき)	→ (ペっとぼとる)	→ (びん)

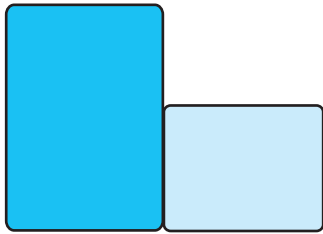
②	なべ	じょうろ	きんぎょばち	ばけつ
				
	で 10はい	で 12はい	で 11はい	で 15はい
	(ばけつ)	→ (じょうろ)	→ (きんぎょばち)	→ (なべ)

かさを こつぷの なんはいぶんで あらわす ことが できるね。

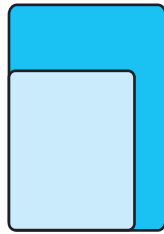


1 したじきの ひろさを くらべます。くらべかたで
よいものに ○を つけましょう。

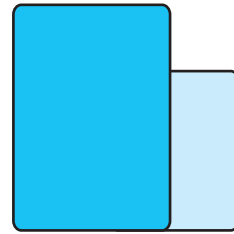
7てん



()



(○)

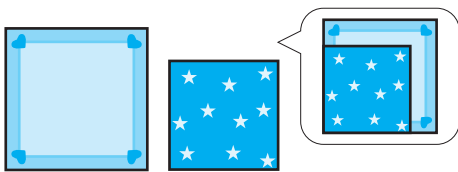


()

2 ひろい ほうに ○を つけましょう。

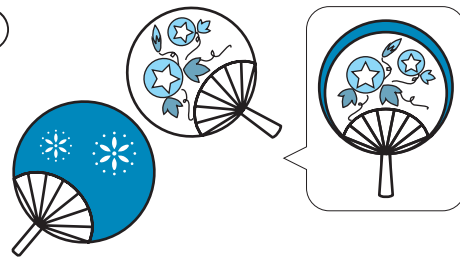
16てん(1つ8)

①



(○) ()

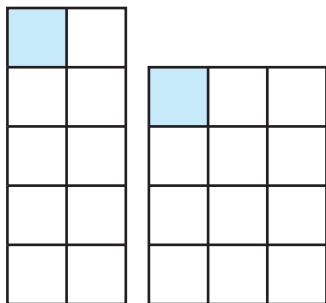
②



(○) ()

3 □には かずを ()には ①か ②を かきましょ
う。

21てん(1つ7)



①

②

①は □が 10 こぶん,

②は □が 12 こぶんだから,

(②)の ほうが ひろい。

おうちの方へ 広さを比べる方法がいろいろあることに気づきましょう。実際に
下じきやハンカチ等を使って比べてみましょう。

1 下じきの角をそろえて重ねて広さを比べます。後ろにある方のしたじきが
広いといえます。

4 ①ガラスは同じ広さなので、ガラスの数で広さを比べることができます。
左の窓はガラスが6枚、右は8枚なので、右の方が広いことがわかります。

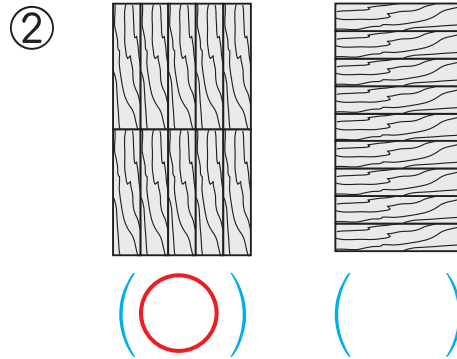
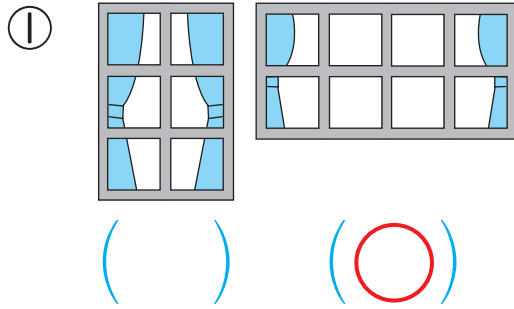
つぎ
次のプリントにつづく →



ひろさくらべ

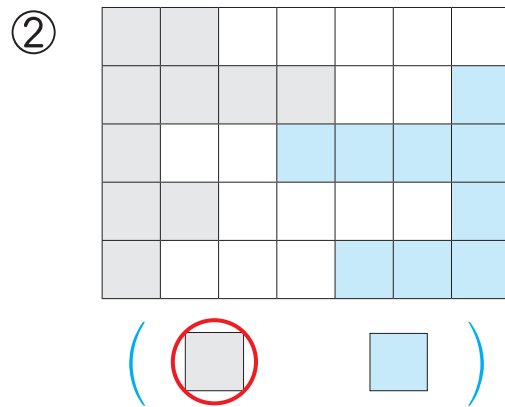
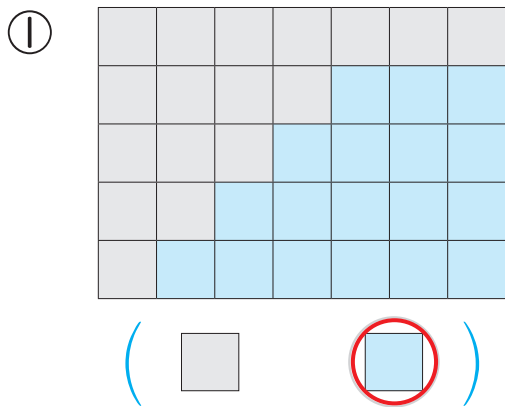
4 ひろい ほうに ○を つけましょう。

16てん(1つ8)



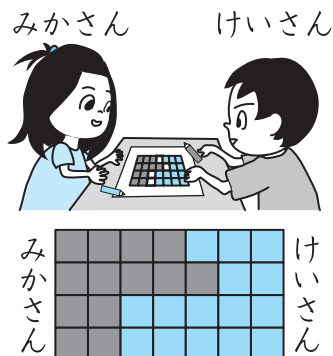
5 □と □では どちらの ほうが ひろいですか。ひろい ほうの □を ○で かこみましょう。

16てん(1つ8)



6 ばしょとりあそびを します。じゃんけんで かったら, □を 1つ ぬります。ぬった ところが ひろい ほうが 勝ちです。だれが かったでしょう。

24てん(1つ8)



■は 13 こ, ■は 15 こ。

■の ほうが かずが おおいから,

かったのは (けい) さん。

ひろさを くらべる いろいろな しかたを おぼえよう。

